

# 29年4月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成29年 4月1日～ 28年4月10日

## 2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
10月分の回答企業数は6社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
仕入 動向	国産材製材品	30.0	10.0	20.0
	外材製材品	10.0	20.0	20.0
	構造用集成材	30.0	30.0	20.0
消費 動向	国産材製材品	10.0	10.0	10.0
	外材製材品	0.0	10.0	20.0
	構造用集成材	0.0	0.0	10.0
在庫 動向	国産材製材品	0.0	0.0	△ 20.0
	外材製材品	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
	構造用集成材	20.0	10.0	△ 10.0

・プレカット加工用部材の仕入は国産材製材品、外材製材品及び構造用集成材とも3カ月連続で増加。  
・プレカット加工用部材の消費は国産材製材品は3カ月連続で増加、外材製材品は4月は横ばい、5月、6月は増加に。構造用集成材は4月、5月は横ばい、6月は増加に。  
・プレカット加工用部材の在庫は国産材製材品は4月、5月は横ばい、6月は減少。外材製材品は3カ月連続で減少、構造用集成材は4月、5月は増加、6月は減少に。

### (2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	29/4月	5月	6月
受注	25.0	41.7	33.3
加工	16.7	33.3	33.3
受注残	20.0	30.0	10.0

・プレカット工場の受注、加工及び受注中残は3カ月連続して増加。

## モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・仕入は材も増えて価格安定。消費は土木関係活況により土木用材に引き合い多し。在庫は高水準で推移。  
・仕入は不便を感じず。

(受注動向)

・雪解けと共に活気戻る。  
・受注状況は落ち着いている。